

令和6年7月11日  
総合教育会議資料  
教育センター作成

## 令和5年度 VLP（バーチャル・ラーニング・プラットフォーム）運用状況

### 1 事業開始の経緯・概要

令和5年10月から、東京都教育委員会が構築したオンライン上の3D仮想空間「VLP（バーチャル・ラーニング・プラットフォーム）」を活用し、GIGAスクール構想での一人一台端末環境のもと、従来の現実世界での支援に加え3D仮想空間上での支援として、「多摩市フレキシスクール Online」を開設した。

### 2 対象者

・登校しない、または、したくてもできない児童・生徒

### 3 事業内容

#### （1）オンライン交流支援について

不登校の児童・生徒に対し、VLPの3D仮想空間内において、交流スペースでの相談やイベントで居場所を提供した。

毎週月曜日に行うイベント「コアラタイム オンライン」では、星槎国際高等学校の教員による、毎回テーマを設けたソーシャルスキルトレーニングを実施した。

毎週に水曜日と木曜日行うイベント「なんでもおはなし会」では、明星大学心理学部の大学院生と対話する、部屋の中でゲームをする等、様々な交流を行った。

#### （2）学習支援について

不登校の児童・生徒に対し、オンライン学習コンテンツとして「デキタス」を提供した。「デキタス」は、小1から中3までの5教科の教科書内容に沿った授業動画や演習問題を通して、既習・未習分野のさかのぼり・さきどり学習を行う、教科書対応学習システムであり、このコンテンツを活用して、学習の支援を行った。

#### 【学年別アカウント登録人数】

R5年度

小学	人数	中学	人数
1年	2	1年	4
2年	1	2年	4
3年	2	3年	6
4年	2		
5年	5		
6年	2		
小計	14	小計	14
合計	28		

R6年度（R6.7時点）

小学	人数	中学	人数
1年	0	1年	4
2年	2	2年	4
3年	1	3年	3
4年	2		
5年	2		
6年	6		
小計	13	小計	11
合計	24		

#### 【参考】日本語指導としてのVLP運用状況

VLPの中でも、日本語指導を行っている。アカウント発行数は3件である。

日本語指導は対面での指導が充実しており、VLPの中で指導を受ける児童・生徒は少ない。利用した児童・生徒の母国語は中国語と英語であった。